

E-oven de 足湯 大作戦！

2009 年 1 月 25 日

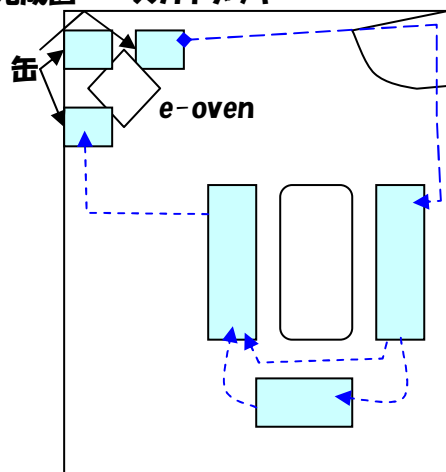
製作理由：①BBQ の際、薪ストーブから遠いところは寒い、これを解消し暖かく BBQ を楽しめるようにする。
②E-0ven のエネルギーをフル活用する。

- 材料：① 箱を作る板(廃材利用) サイズ 幅 350、長さ980、高さ300
側面(980×300:6枚、350×300:6枚)、底(980×350:3枚)
② ホース 黒ホース(外径22、内径16) 太陽熱パネルの廃品から回収
水色ホース(外径15、内径11) あまり物
③ 18L 缶(近所の店から空き缶をもらう)
④ バスポンプ コーナンで購入。580 円
⑤ キャスター 12ヶ
⑥ シール用のエポキシレジン(カヌーパドルを作るときに使うものを利用)

材料費:バスポンプ580 円、キャスター 1200 円

道具: 電動ドリル、サンダー

完成図 スカイデッキ



リビングへのドアの下を通す。

----- :ホース

ホースでお湯を流し、3つの箱を循環させる。

3番目の箱から E-0ven へ戻す。

人数によってお湯を入れる箱の数を調節。

方法: E-0ven の周りに 18L の缶を置き、水を温める。

お湯をホースでテーブルの周りの足湯用の木箱に流す。

木箱は3つ作る。人数に応じて使う箱を選べるようにする。

冷めたお湯をバスポンプで缶に循環させる。

お湯を沸かす方法: E-oven の両サイドと裏側に 18L 缶(近所のお店でもらう)を置く。

お湯を流す方法 : 18L 缶のほうが高いところにあるのでホースで自然に流れる。

お湯を戻す方法 : 2L 用のペットボトルを利用したお湯汲みでもどす⇒「バスポンプを利用することに変更

工夫した所

1 18L 缶にホースをつなぐ部分……缶の内外に板をねじ止めし、外側から20mmの木工用ドリルで穴を開ける。

黒ホース(外径22mm)が差し込めるように鑄で穴を数ミリ広げる。

黒ホースを押し込む。

* 水色ホース(外径15mm)を黒ホース(内径16mm)に差し込むことによって水漏れ無しでつなげる

写真 ホースの接合部分





1 斗缶はまだ 1 つ



ホットワイン、熱燗用のホルダーを針金で作成



このようにして温める



水道水を入れる



缶の横に穴を開け、ホースを差込んで箱まで流す。黒ホース(固め)と水色ホース(通常)を利用。黒ホースは内径が16mm 水色ホースは外径が15mmなので 黒ホースに差し込むことが可能だった。



テーブルの下足湯の箱



反対側はホースでつながっているので、お湯が循環する。



厚い板は杉 薄いほうはフローリング材



サンディングと化粧板は次回

自然の力(サイフォンの原理)で水が出る。ホースの先は壊れたシャワー栓を利用。



冷めたお湯はペットボトルで汲み取って戻す(結構大変!!)⇒バスポンプを使うことにする。

お湯を沸かす間にオーブンでパンを焼き、サンドウィッチとビールでランチ



夜にはサーモンときのこのバター焼きとジャガイモ、にんじん、にんにくのオリーブオイル炒めをオーブンで作り、
足湯につかいながらおいしくいただきました。

2月1日 1月25日に作った箱にパイン材(廃材)を貼り、化粧する。全体をサンディング。

バスポンプを試す…成功。今回はバケツ(10L)で60度のお湯を10杯入れて約100Lを準備。
寒い夜でしたが、E-ovenと足湯で外のデッキで夕食を食べました。



今回はE-ovenの裏側に缶を置いてみる:裏のほうが温度が高かった。

あとはE-Oven周りに置く一斗缶をあと2つ手に入れてお湯を沸かす量を増やす…バケツで入れる作業が無くなるようにしたい!